

MSE-Dコース（機械安全の入門講習会）

この講習会は、機械ユーザの生産技術管理者および安全担当者に実際に役に立つリスクアセスメントを習得していただく2日間の講習会（D1, D2）です。

○「機械安全入門」1日目（D1）

現場に大事な法令，技術者の心構え（倫理），機械安全の原則，リスク低減技術の実務の知識，そして充実したリスクアセスメント演習です。本講座は機械設計者の機械安全入門編としても有益です。

○「機械安全入門」2日目（D2）

リスクアセスメント（RA）の実務の知識を習得します。リスク低減のための本質的安全設計方策、ガードとインターロック、非常停止装置などの講義に続き、映像を活用したRA演習を行います。演習は参加者個人が課題に取り組み、続いてグループで討論してリスクアセスメント評価シートを取りまとめるところまで行う、実践的なものです。

機械設計者の「機械安全入門編」としても有益です。

<厚生労働省の機械安全教育の通達を踏まえた教育です>

本講習会は、厚生労働省通達 平成31年3月25日付け基安発 0325 第1号の別添4の別紙3の「生産技術管理者に対する機械安全教育カリキュラム」を満たし、更に機械の使用者に学んで頂きたい技術を盛り込んだものです。

2021年オンライン講習日程表（MSE-D）

| コース名 | 講座記号 | 講義内容 | 開催方法 | 講義時間 | 開催日 (2021年) |
|------|------|---------------------------|-------|-------|----------------|
| Dコース | D1 | 技術者倫理 機械安全原則 機械安全法令 | オンライン | 7.5時間 | 12月8日 |
| | D2 | リスクアセスメント リスクアセスメント演習 | オンライン | 7.5時間 | 12月15日 |

D1「リスクアセスメント(ユーザおよび設計者の機械安全入門)」講習会

(災害事例, 技術者倫理, 国内法と機械安全法令, 機械安全原則, リスクアセスメント)

1. ねらい

本講習会は、機械ユーザの生産技術管理者および安全担当者に実際に役に立つリスクアセスメントを習得していただく2日間の講習会(D1, D2)です。

1日目(D1)は、現場に大事な法令、技術者の心構え(倫理)、機械安全の原則、リスク低減技術の実務の知識、そして充実したリスクアセスメント演習です。本講座は機械設計者の機械安全入門編としても有益です。

機械ユーザの経営者や購買担当者にはD1 技術者倫理・安全原則・関係法令をお薦めします。

本講習会は、厚生労働省通達平成31年3月25日付け基安発0325第1号の別添4の別紙3の「生産技術管理者に対する機械安全教育カリキュラム」を満たし、更に機械の使用者に学んで頂きたい技術を盛り込みました。

2. 開催日と場所および定員

- 開催日 12月8日(水) 受付:8時45分(接続開始 8時30分)
- 開催場所 オンライン Zoomを使用します
職場の自席、リモートワーク場所、別室、など
- 定員 20名

3. プログラム

| 時刻 | 時間 (分) | 講義 No. | 内容 | 講師, 備考 |
|---------------|-----------|-----------|--|--------|
| 9:00 ~ 9:10 | 10 | | オリエンテーション | |
| 9:10 ~ 10:10 | 60 | 1 | 第1章 技術者倫理とコンプライアンス (1) 労働災害, 機械災害の現状と災害事例 (2) 技術者倫理, 法令遵守(コンプライアンス) | |
| 10:10 ~ 10:15 | 5 | | 休憩 | |
| 10:15 ~ 12:00 | 105 | 2 | 第2章 機械の安全原則 (1) 安全について基本的な考え方 (2) 安全性の立証 (3) 機械安全国際規格とJIS規格の種類と概要 | |
| 12:00 ~ 12:45 | 45 | | 昼食・休憩 | |
| 12:45 ~ 13:00 | 15 | 3 | 第2章 機械の安全原則(続) (4) 機械の安全と電気 | |
| 13:00 ~ 14:00 | 60 | 4 | 第3章 国内法と機械安全関係法令 (1) なぜ労働安全衛生法を学ぶのでしょうか (2) 機械安全に係る労働安全衛生法の体系と概要 (3) 機械による労働災害の低減を図る施策 | |
| 14:00 ~ 14:10 | 10 | | 休憩 | |
| 14:10 ~ 15:10 | 60 | 5 | (4) 機械の包括安全基準に関する指針と国際規格 (6) 機械に関する危険性等の通知の促進に関する指針 | |
| 15:10 ~ 15:15 | 5 | | 休憩 | |
| 15:15 ~ 16:15 | 60 | 6 | (5) リスクアセスメントに関する指針と国際規格 ...第4章も参照しながら講義します | |
| 16:15 ~ 16:20 | 5 | | 休憩 | |
| 16:20 ~ 17:50 | 90 | 7 | 第4章 機械使用段階のリスクアセスメントとリスク低減方策 (1) リスクアセスメント・リスク低減の方法論概要 (2) 機械の制限の決定(手順1) (3) 危険減と危険減の同定(手順2) (4) リスク見積り(手順3) (5) リスク評価(手順4) | |
| 17:50 ~ 18:00 | 10 | | 終了 | |

本講習会は、厚生労働省通達「機械安全に関する設計技術者に対する機械安全教育カリキュラム」を完全に満たしています。

* D1,D2の両講座の受講者に受講証明書(出席を証する文書の提出があれば修了証)を発行します。

4. 講師 当会講師

5. 受講お申込みと受講費用

ホームページよりお願いします。 <https://d-sostap.or.jp/apply/>

会員 16,500円(税込) 一般 22,000円(税込)

| | |
|--------|---|
| お問い合わせ | 一般社団法人安全技術普及会 〒140-0011 東京都品川区東大井5-4-19 三井第3ビル TEL 03-5769-0775 FAX 03-5769-0776 Email info@sostap.org ホームページ http://www.d-sostap.or.jp/ |
|--------|---|

D2 「リスクアセスメント，演習」講習会

(リスクアセスメントのやり方，リスク低減のための設計方策，リスクアセスメント演習)

1. ねらい

「機械安全入門」2日目(D2)は、リスクアセスメント(RA)の実務の知識を習得します。リスク低減のための本質的安全設計方策、ガードとインターロック、非常停止装置などの講義に続き、映像を活用したRA演習を行います。演習は参加者個人が課題に取り組み、続いてグループで討論してリスクアセスメント評価シートを取りまとめるところまで行う、実践的なものです。機械設計者の「機械安全入門編」としても有益です。

本講習会は、厚生労働省通達平成31年3月25日付け基安発0325第1号の別添4の別紙3の「生産技術管理者に対する機械安全教育カリキュラム」を満たし、更に機械の使用者に学んで頂きたい技術を盛り込みました。

2. 開催日と場所および定員

- 開催日 12月15日(水) 受付:8時45分(接続開始 8時30分)
- 開催場所 オンライン Zoom を使用します
職場の自席、リモートワーク場所、別室、など
- 定員 20名

3. プログラム

| 時刻 | 時間(分) | 講義 No. | 内容 | 講師.備考 |
|---------------|-------|--------|---|-------|
| 9:00 ~ 9:05 | 5 | | オリエンテーション | |
| 9:05 ~ 9:45 | 40 | 8 | 第4章 機械使用段階のリスクアセスメントとリスク低減方策 (6) 本質的安全設計方策のうち可能なもの | |
| 9:45 ~ 10:45 | 60 | 9 | (7) 安全防護(ガード) | |
| 10:45 ~ 10:55 | 10 | | 休憩 | |
| 10:55 ~ 11:55 | 60 | 9 | (8) 安全防護(インタロック装置, 安全コンポーネント) | |
| 11:55 ~ 12:45 | 50 | | 昼食・休憩 | |
| 12:45 ~ 13:05 | 20 | 10 | (9) 付加保護方策 | |
| 13:05 ~ 13:05 | 0 | | 休憩 | |
| 13:05 ~ 14:25 | 80 | 11 | リスクアセスメント演習 (1) リスクアセスメントのフローの説明 (2) 機械の制限の決定(個人演習) (3) 危険源の説明 (4) 危険源の同定と保護方策の検討(個人作業) | |
| 14:25 ~ 14:35 | 10 | | 休憩 | |
| 14:35 ~ 15:45 | 70 | 12 | リスクアセスメント演習(続き) (5) グループ編成 (6) 危険源の同定と現状の安全性評価 | |
| 15:45 ~ 15:50 | 5 | | 休憩 | |
| 15:50 ~ 17:50 | 120 | 13 | リスクアセスメント演習(続き) (7) リスクの低減方策の検討(グループ作業) (8) グループ発表と講評 残留リスク対策:作業手順, 労働者教育, 個人用保護具 全体的なまとめ | |
| 17:50 ~ 18:00 | 10 | | 終了 | |

本講習会は、厚生労働省通達「機械安全に関する設計技術者に対する機械安全教育カリキュラム」を完全に満たしています。

* D1,D2の両講座の受講者に受講証明書(出席を証する文書の提出があれば修了証)を発行します。

4. 講師 当会講師

5. 受講お申込みと受講費用

ホームページよりお願いします。 <https://d-sostap.or.jp/apply/>

会員 16,500円(税込) 一般 22,000円(税込)

| | |
|--------|--|
| お問い合わせ | 一般社団法人安全技術普及会 〒140-0011 東京都品川区東大井5-4-19 三井第3ビル TEL 03-5769-0775 FAX 03-5769-0776 Email info@sostap.org ホームページ http://www.d-sostap.or.jp/ |
|--------|--|